

令和7年度 予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額(一般会計+特別会計)

歳入	459億5,640万円	△1.2%(前年度当初予算比)
歳出	484億7,272万円	+4.2%(前年度当初予算比)
財源不足額	25億1,632万円	5億4,214万円(前年度当初要求時比)

令和7年度予算の要求は、大型施設等の建設や光熱費をはじめとした物価高騰の影響が長期化する見通しの中、予算要求段階での収支ギャップは、25億1,632万円(前年度当初要求時収支ギャップは30億5,846万円)となりました。

自主財源である市税は、賃上げの影響や法人業績が好調であることに伴い、個人市民税、法人市民税ともに増収を見込んでいます。また、新築家屋棟数の増加により、固定資産税の増収も合わせると、市税全体で6.1%の増収を見込んでいます。国庫支出金は、公立学校施設整備費、社会資本整備総合交付金(道路整備分)などにより、14.4%の増となった一方で、地方交付税は、1億4,705万円の減収を見込み、市債は、新保健福祉施設整備事業や森林公園リニューアル事業分の皆減に伴い、3億857万円の減収を見込んでいます。歳入予算全体では、459億5,640万円と前年度当初予算より5億5,710万円(△1.2%)の減額要求となりました。

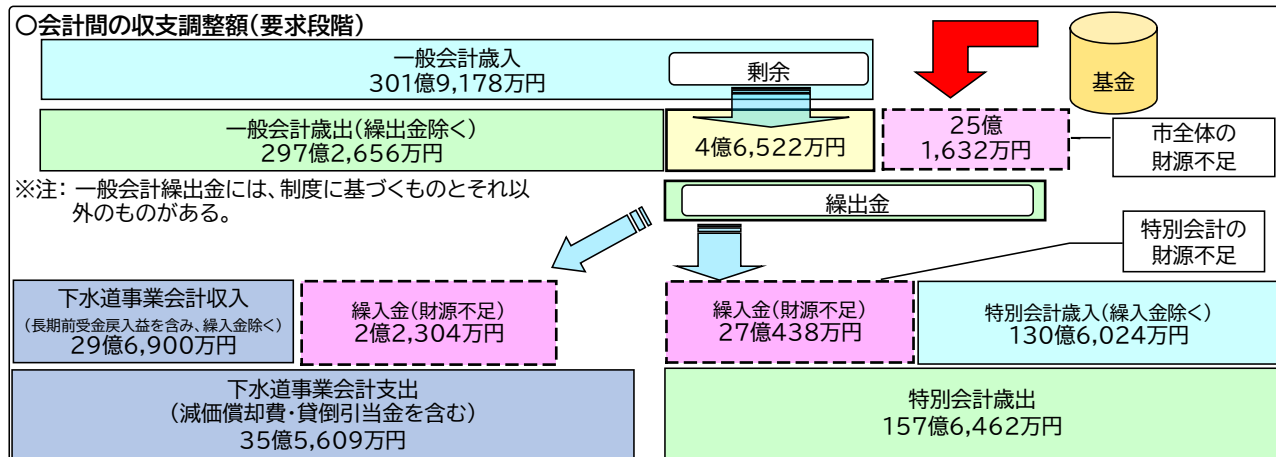
歳出では、小中一貫校施設整備事業、市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業や新長戸コミュニティセンター整備事業をはじめとした大型普通建設事業の実施に加え、児童手当支給事業や障がい者自立支援給付事業といった扶助費の財政需要の高まりにより、歳出予算全体では、484億7,272万円と前年度当初予算より19億5,922万円(+4.2%)の増額要求となりました。

2. 会計別要求状況

(単位:千円)

会計名	令和7年度要求額		令和6年度 当初予算額	対前年度当初予算比		同増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	30,191,776	32,708,100	30,796,000	△ 604,224	1,912,100	△ 2.0	6.2
国民健康保険事業特別会計	6,929,200	6,929,200	7,174,000	△ 244,800	△ 244,800	△ 3.4	△ 3.4
介護保険事業特別会計	6,491,771	6,491,771	6,408,000	83,771	83,771	1.3	1.3
児童発達支援事業特別会計	129,651	129,651	102,500	27,151	27,151	26.5	26.5
後期高齢者医療事業特別会計	2,214,000	2,214,000	2,033,000	181,000	181,000	8.9	8.9
特別会計 合計	15,764,622	15,764,622	15,717,500	47,122	47,122	0.3	0.3
総 計	45,956,398	48,472,722	46,513,500	△ 557,102	1,959,222	△ 1.2	4.2
下水道 事業会計	収入予定額 3,192,041	支出予定額 3,556,093	3,338,876	△ 146,835	△ 242,895	△ 4.4	△ 6.4

○会計間の収支調整額(要求段階)



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)		下水道事業会計(繰入前)	
歳入	301億9,178万円	+1.5%	130億6,024万円	△0.8%	18億1,235万円	+9.0%
歳出	297億2,656万円	+0.4%	157億6,462万円	+0.1%	20億3,539万円	△9.4%
財源不足額	+4億6,522万円		27億4,388万円		2億2,304万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

※注:下水道事業会計は収入・支出からそれぞれ長期前受金戻入益と減価償却費・貸倒引当金を除いた額。

2. 特別会計等繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和7年度 要求額	令和6年度 当初予算額	対前年度 当初予算比	同増減率 (%)
国民健康保険事業特別会計	520,808	478,085	42,723	8.9
介護保険事業特別会計	1,023,848	1,018,999	4,849	0.5
児童発達支援事業特別会計	96,182	66,498	29,684	44.6
後期高齢者医療事業特別会計	1,063,539	1,014,982	48,557	4.8
特別会計 合計	2,704,377	2,578,564	125,813	4.9
下水道事業会計	277,160	248,023	29,137	11.7

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額25億1,632万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。なお、令和7年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、令和5年1月から計画期間となっている、当市の最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実効性を担保します。

前期基本計画におけるリーディングプロジェクト

- ◆未来創造プロジェクト～子どもの笑顔が続くまちを創る～
- ◆魅力創造プロジェクト～もっと魅力が感じられるまちを創る～
- ◆幸せ創造プロジェクト～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

